



2023横浜八景島トライアスロンフェスティバル 大会概要

Ver2.1

1 開催趣旨

2019年まで開催をしていた「横浜シーサイドトライアスロン大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020年から3年連続の中止となりました。

コロナ禍の状況により、スポーツに参加する人の意識も変化し、参加意欲をそそる大会を選ぶ傾向（大会の差別化）にあることから、大会主催者は、参加者が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整え、参加してよかったと思われる大会の開催を発信していく必要があります。

2023年の4年ぶりの開催に向けては、大会の目指すべき方向性を明確にするとともに、競技種目（カテゴリー）の見直しや付帯事業等の大会の魅力づくりを行い、トライアスリートから選ばれる大会を目指します。

また、横浜市内で唯一自然海岸が残っている金沢区で開催することで、多くの区外（広域）からの参加者に区の特徴（魅力）である海と緑に恵まれた環境を身近に感じてもらうとともに、会場でもあるアミューズメントパーク横浜八景島との連携により観光・交流へとつなげ、地域の賑わいに貢献します。

大会の目指すべき方向性

◆アミューズメントパーク八景島との連携による大会運営

「こどもから大人まで、ファミリーで楽しめるトライアスロン大会、横浜八景島を満喫しよう」を合言葉に、他大会との差別化を図り、誰もが参加でき、楽しめる大会を目指します。また、この方向性を考慮するとともに、どこで開催しているかを誰もが認識できるよう、大会名称を「横浜八景島トライアスロンフェスティバル」とし、リニューアル感を前面に押し出します。

◆競技性も確保し向上心の高い参加者を獲得

参加選手の中で、より向上心の高い参加者を獲得するため、スプリント及びパラトライアスロンの部を「JTUTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」として位置付け大会への参加を促進します。

※このシリーズは、参加選手が順位及び完走タイムに応じたポイントを獲得する年間ランキング制度

2 大会概要

項 目	内 容
大 会 名	2023横浜八景島トライアスロンフェスティバル (JTUTトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ)
開 催 日	2023年9月24日（日）
開催場所	横浜・八景島シーパラダイス、LINKAI横浜金沢（金沢臨海部産業団地周辺）
主 催	横浜シーサイドトライアスロン大会実行委員会 【構成団体】 日本トライアスロン連合、横浜市スポーツ協会、横浜市にぎわいスポーツ文化局、 横浜市トライアスロン協会、神奈川県トライアスロン連合、日刊スポーツ新聞社、横浜市金沢区、 横浜金沢産業連絡協議会、横浜八景島、横浜シーサイドライン、金沢区町内会連合会、 横浜金沢観光協会、横浜市緑の協会、横浜港振興協会、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、 横浜観光コンベンション・ビューロー
主 管	神奈川県トライアスロン連合、横浜市トライアスロン協会
後 援 (予定)	観光庁、神奈川新聞社、NHK横浜放送局、t v k、F Mヨコハマ、ラジオ日本
協 賛 (2019実績)	イオンリテール株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、株式会社ファンケル、エバラ食品工業株式会社、株式会社東洋信号通信社、横浜・八景島シーパラダイス、公益財団法人横浜市緑の協会、 TYR、スポーツクラブNAS株式会社、横浜ベイサイドマリーナ株式会社、カリフォルニア・レーズン協会、株式会社フォトクワイート、株式会社SPORTS Edge、警備業横浜協同組合、有限会社スポーツアシスト、 小久保製氷冷蔵株式会社、株式会社横浜レンタル
公 認	日本トライアスロン連合
助 成	横浜こどもスポーツ基金

3 大会競技スケジュール

当日受付/健康相談	7:30 -
交通規制時間	9:30 - 14:00
競技スタート	パラトライアスロン 9:40 - トライアスロン 10:00 - アクアスロン 12:40 - ペアチャレンジ 13:00 - ファミリーリレー 13:20 -



4 大会の魅力づくり

Point ① スプリントの部を「JTUTライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」に位置づけます。

「JTUTライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」は、参加選手が順位及び完走タイムに応じたポイントを獲得する（完走者は必ず1ポイント獲得）JTUの年間ランキング制度です。現在、スプリントでは、全国で約200大会ある中で、13大会がシリーズ戦に位置付けられています。

当該大会をシリーズ大会に位置づけることにより、ポイント獲得を狙うトライアスリートの一程度の参加確保が見込まれます。

Point ② スプリントの部にチーム戦を導入し、チーム等に所属者の参加を促します。

首都圏にはスクールも多く、愛好家のチームや団体がいくつもあることから、アプローチの対象を既存の団体に広げます。チーム対抗を設置することで、個人では上位に入れず、表彰される可能性からは遠い方たちが、チームで表彰対象になることによって表彰される可能性が生まれるという魅力を提供できます。トライアスロンを始めた女性の中には、初レースで表彰されて、それからどつぱりとハマってしまうという人が多くなっています。また、これまで大会参加に不安を感じていた人たちが、安心して参加できるとともに、家族や所属チームの応援者の増も期待できます。

Point ③ スイム距離の短いカテゴリーを設置し、スイムに自信のない方でも参加しやすくします。

トライアスロンは、ランニングやバイク（自転車）の愛好家が次のステップとして始めるケースが多いことから、3種目のうち水泳の苦手な方が多くなっています。現行の横浜シーサイドトライアスロン大会においても、スプリント（スイム750m）よりもスイム距離の短いカテゴリーを設置していますが、多くの方に申し込みをいただいています（2019年スイム500mのカテゴリー：360名）。引き続きスイムが苦手な方でも参加しやすいように配慮するため、スイム距離の短いカテゴリー（スイム500m・250m）を設置し、参加者増につなげます。

Point ④ 大会参加者向けのセミナーを開催し、参加者の不安を解消します。

これまでセミナーを開催してきた中で、スイムに不安を抱えるため、ウェットスーツの上手な着用方法を知りたい、ウェットスーツを着用しての海での泳ぎ方を教えてほしいというトライアスリートが多います。横浜市トライアスロン協会と連携をし、海の公園でのスイムセミナー等を開催することで、参加者の不安を解消し、エントリーを促します。

Point ⑤ 新たに保護者等とペアで参加できるカテゴリーを設置し誰もが楽しめるようにします。

これまでの大会では、小学生や中学生が高校生以上とペアになるアクアスロン（スイム・ラン）のカテゴリーを設置していますが、『小さなお子様から大人までファミリーで楽しめるトライアスロン大会』、『誰もが参加でき楽しめる大会』を目指すため、新たに小学生（低学年及び高学年）と保護者等を対象としたトライアスロン（スイム・バイク・ラン）カテゴリーを設置します。ファミリーでレースに参加したい、それをファミリーで応援したい層を取り込むことができます。

5 競技カテゴリー及び参加料(環境協力金 1 人50円含む)

カテゴリー		定員	参加料	距離
トライアスロン	スプリント ※エイジスプリントナショナル チャンピオンシップシリーズ ※チーム対抗戦の表彰あり	550名	20,050円	25.75km スイム：0.25km×3周回 バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	スプリント S500	110名	19,050円	25.5km スイム：0.25km×2周回 バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	スプリント S250	110名	19,050円	25.25km スイム：0.25km×1周回 バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	パラトライアスロン ※エイジスプリントナショナル チャンピオンシップシリーズ	10名	20,050円	25.75km スイム：0.25km×3周回 バイク：5.0km×4周回 ラン：2.5km×2周回
	リレー	50組 (150名)	24,150円	
	ファミリーリレーA NEW スイム：保護者(高校生以上) バイク：小学1-3年生 ラン：保護者(高校生以上)と 小学1-3年生	20組 (40名)	8,100円	2.35km スイム：0.25km×1周回 バイク：1.1km×1周回 ラン：1.0km×1周回
アクアスロン	ファミリーリレーB NEW スイム：保護者(高校生以上) バイク：小学4-6年生 ラン：保護者(高校生以上)と 小学4-6年生	20組 (40名)	8,100円	3.45km スイム：0.25km×1周回 バイク：1.1km×2周回 ラン：1.0km×1周回
	アクアスロン	60名	8,050円	5.5km スイム：0.25km×2周回 ラン：2.5km×2周回
	パラアクアスロン			
	キッズペアチャレンジA スイム：保護者(高校生以上) ラン：小学1-3年生	10組 (20名)	5,100円	1.25km スイム：0.25km×1周回 ラン：1.0km×1周回
	キッズペアチャレンジB スイム：保護者(高校生以上) ラン：小学4-6年生・中学生	10組 (20名)	5,100円	2.25km スイム：0.25km×1周回 ラン：1.0km×2周回
合 計		1,110名	950名(人数・組)	

※全カテゴリー「先着」での受け付けとなります。

※都道府県競技団体・学連会員登録はスプリント、パラトライアスロンのカテゴリーで必須としていますが、その他のカテゴリーは会員登録を推奨とします。

※スプリント及びパラトライアスロンは、「2023JTUTライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ」の対象レースとなります。

※チーム対抗戦は、エントリー時に登録されたチーム名で、成績上位3チームを表彰します。
また、第1回大会の特別表彰として、最も参加者数が多いチームを表彰します。

6 大会関連スケジュール

時 期	内 容
6月26日（月）	総会開催
6月29日（木）	大会概要発表／エントリー情報ホームページ公開／エントリー情報SNS発信
7月10日（月）	エントリー募集開始
8月21日（月）	エントリー募集締切
9月上旬	スタートリスト公表
9月23日（土）	前日受付
9月24日（日）	大会当日 ※健康チェック・健康相談あり

7 メディア・広報計画

時 期	媒 体
6月29日（木）	大会開催決定・記者発表リリース
7月上旬	過去参加者や会員登録者等へのダイレクトメール、トライアスロン専門誌（WEB含む）への募集情報掲載、他大会や大学クラブ等でのチラシ配布 など
7月下旬	交通規制チラシ配布開始
9月1日（金）	広報よこはま（金沢区版）

8 安全・安心に参加できる大会運営

① 参加者レベルに応じたスイム距離選択制の導入

トライアスロンデビューの方やスイムに不安のある方が安心して参加していただけるよう、スイム距離が選択できるカテゴリー（スプリント・スプリントS500・スプリントS250）を設けます。

ご自身の状況に応じて、距離カテゴリーを選択し、レベルアップを目指すことができます。

② 大会前の座学講座やセミナーの充実

トライアスロンデビューや海で開催される大会の出場経験の少ない参加者に対して、競技の特性や、本大会を理解し、安心してレースに出場できるように座学講座や、ウェットスーツを着用し、実際の海で泳ぐセミナーを開催します。

③ スイム競技を楽しむために（ウォームアップ・試泳・アイスブレイク）

競技開始前に一定程度心拍数を上げ、身体を温め、ほぐすようなウォーミングアップを実施するほか、スイム会場での試泳を実施します。また、試泳後の競技開始の直前には、緊張をほぐしてレースに臨むためのグループごとのアイスブレイクタイムを設けます。



9 主な取組

① アミューズメントパーク横浜八景島と連携した大会運営

こどもから大人まで、ファミリーで楽しめる大会にするため、横浜八景島と連携し、横浜八景島のコンテンツを生かした参加者やその家族が楽しめる企画を提供します。

- 【企画例】 ○参加者やそのご家族が横浜八景島シーパラダイスの施設や乗物を割引価格で利用可能
○参加者へ横浜八景島シーパラダイスの施設や乗物で使用可能なチケットを副賞として配布



② ストライダージャパンと連携した取組

ストライダージャパンのご協力により、当日参加されたキッズや横浜八景島へ来所されたキッズ（未就学児から）向けに、ストライダーを体験できる特設コースを設置します。



③ 2024ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会と連携した取組

スプリント及びパラトライアスロンの部年代別上位入賞者（1-3位）及び総合100位までの参加者に「2024ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会（2024年5月12日開催予定）」への優先出走権（スプリント・スタンダード・パラトライアスロン）をお渡しします。



④ ゲストアスリートの招待

大会ゲストとして、オリンピックに出場された元トライアスロン日本代表選手をお招きし、大会を盛り上げます。スタート前の選手へのアドバイスをはじめ、スイムで選手とともに泳いだり、ペアチャレンジの部では子どもたちと一緒に島内をランニングするなど、全選手がフィニッシュできるようサポートします。



⑤ インクルーシブスポーツの推進

パラトライアスロン・パラアクアスロンの競技カテゴリーを設けます。また、小学生を対象としたペアチャレンジの部を設け、障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」と連携した取組を行います。



⑥ 大会を通じた環境への取組

横浜市の水源林である山梨県道志村の間伐材を活用します。加工には、横浜市西区にある障害者の就労支援施設「さらい工房」にご協力いただきます。

また、参加者の皆様に、エントリー時に環境協力金（50円）のご協力をいただき、大会の環境への取組に活用します。



10 コースマップ

(1) スプリント (S500,S250) の部、パラスプリントの部、リレーの部



(2) アクアスロン 一般の部、パラアクアスロンの部



(3) アクアスロン ペアチャレンジの部A、ペアチャレンジの部B



(4) ファミリーリレーの部A、ファミリーリレーの部B



